

大麻・文京台エリア



都市景観賞（特別部門）／ランドマーク施設

1 地域の美化運動（文京台第一自治会）／文京台入口バス待合所

江別市文京台 43 番地 15
（国道 12 号沿い）

きれいな街づくりを目指して、多様な地域活動を実践しています。特に、住民が協力して設置したバス待合所を土地所有者の協力を得ながら住民一体となって清掃活動するなど、環境の美化に努めています。

3 喫茶ビッグフォーレスト

江別市大麻桜木町 21 番地 14



都市景観賞（建造物部門）

ログハウスとれんが、手入れの行き届いたフジの緑と花々が調和した美しい景観は見事です。日ごろの努力と工夫が感じられ、落ち着きのある雰囲気を醸し出しています。

5 江別市生涯活躍のまち「ココルクえべつ」

江別市大麻元町 154 番地



都市景観奨励賞

市民が生涯にわたって安心して暮らせ、多様な主体が交流できる「共生のまち」としてつくられました。江別の今後を支えるうえでとても大切な施設です。

2 大麻西町ラベンダーロード

江別市大麻西町「バス通り」



都市景観賞（特別部門）

平成 15 年の春から自治会の皆さんが中心となって大麻西町のメインストリートに、苗の植え込みから育て上げたものです。毎年初夏には濃紫色の美しい花とラベンダーの香りが道行く人に憩いと癒しを与えてくれます。

（見頃：7 月頃）

4 市道 3 番通道路改良事業

江別市大麻宮町 1 番地



都市景観賞（特別部門）

大麻中学校の記念植樹であり、生徒の思い出深いポプラ並木を積極的に保存し、歩行者にうるおいを与えています。人と自然が共生する環境づくりを目指した道路整備の工事手法は高い評価を得ています。

6 札幌学院大学・北翔大学前バス待合所

江別市文京台 31 番地 2 地先
（国道 12 号沿い）



都市景観賞（建造物部門）／ランドマーク施設

大学の記念館をイメージし、モザイクガラスとれんがレリーフが文教地区にふさわしい文化的な景観を創出しています。利用する人はもちろん地域の人々に愛されるバス待合所です。

7 文教通の花いっぱい運動

江別市文京台地内



都市景観賞（活動部門）

地域の美化運動として、文教クラブが、文教通の歩道に毎年花を植え込み、維持管理をしています。地域の温かさを道行く人に感じさせ、環境に配慮した地域づくりを実践することで、住みよい街づくりが実現しています。

9 札幌学院大学学生プラザ

江別市文京台 11 番地



都市景観賞（特別部門）

壮大な記念館に融合した野外ステージです。季節を演出した緑と水は夜間照明によって幻想的な景観を醸し出しています。学生の語らい、憩いの場として夢とロマンを与えています。

11 北海道立図書館

江別市文京台東町 41 番地



都市景観賞（建造物部門）

文教地区の中央に位置し、芝生の緑に赤いれんがが映える建物です。広大な広場は、江別市民はもとより道民の憩いの場として貴重な空間であり、文教地区を代表する景観となっています。

13 酪農学園前バス待合所

江別市文京台緑町 569 番地 41
（国道 12 号沿い）



都市景観賞（建造物部門）／ランドマーク施設

大学を象徴するサイロをイメージした建物が牧歌的な雰囲気を演出しています。周辺は白樺の柵やれんが舗装など小牧場風に仕上げられ、背景の広大な緑と融合し、絵になる風景が広がります。

15 酪農学園精農寮ほか

江別市文京台緑町 569 番地



都市景観賞（建造物部門）

キャンパスの景観が市民に親しみとやすらぎを与えるとともに、江別を訪れた人に北海道らしさを感じさせます。中でも精農寮は人と動物が自然に溶け込み、土の香り漂う学校の歴史を語るシンボルの建物です。



ランドマーク施設

A 歓迎塔

江別市文京台 66 番地 4
（国道 12 号沿い）

第 4 4 回国民体育大会北海道はまなす国体開催に合わせ、江別を訪れた方を歓迎するために札幌市との境に設置されました。未来に向けて飛躍する江別を近代的な直線で表現し、江別特産のれんがでサイロと石狩川をイメージしています。

8 札幌学院大学建学記念館

江別市文京台 11 番地



都市景観賞（建造物部門）

明治 39 年に札幌・中島公園に建てられた農業館をモチーフにした建物です。近代的なキャンパスの中で周辺とよくマッチし、清楚、荘厳かつモダンな景観を醸し出している大学のシンボルの建物です。



都市景観賞（特別部門）

10 花いっぱい運動（酪農学園花壇）

江別市文京台東町地内
（国道 12 号沿い）

国道 12 号沿いでのこの運動は、毎年 1 万株もの草花を植える花壇造りを実施し、国道を行き交う人々の目を楽しませています。地域の美化はもとより、美しい街づくりを進める上で模範となる活動です。



都市景観賞（特別部門）

12 酪農学園の白樺並木

江別市文京台緑町 582 番地

雄大な自然のキャンパスを背景に、江別を訪れた人々に北海道らしさを感じさせ、「絵になる江別」を代表する景観を創出しています。

14 酪農学園大学の風景

江別市文京台緑町地内



都市景観賞（特別部門）

街なかにならながら約 130ha の緑豊かなキャンパスに草を食む牛の姿や牛舎などがある牧歌的な風景が広がっています。国道 12 号で札幌から江別に来るときに出迎えてくれる江別を代表する心とむ空間として、ファンもたくさんいます。

16 米澤煉瓦 株式会社

江別市元野幌 227 番地



都市景観賞（建造物部門）

昭和 14 年に創業し、昭和 51 年に現在の位置に移設されました。れんがの建築物とれんが煙突が江別を象徴しており、江別の歴史を支えるとても重要な景観であるといえます。



ランドマーク施設

B とわの森三愛高校前バス待合所

江別市文京台緑町 569 番地 51
（国道 12 号沿い）

国道 12 号沿道のとわの森三愛高校前に設置され、同学園の礼拝堂の尖塔をイメージしたデザインになっています。

※ えべつ都市景観フォトコンの応募写真を一部使用しています。